

「光」が縁で

友好交流スタート

同じ「光」の一字を自治体

町とは驚くほど似ています。

名に持つよしみで、山口県光市との交流が急浮上し、末岡光市長と向後町長とで今後の友好交流に向けて固い握手が交わされました。

光市は山口県の東南部、周南工業特別地域の東部に位置し、瀬戸内海国立公園を一部に含む、自然景観に優れた人口約五万人の都市です。

今後、行政や議会の交流の他、教育、文化、スポーツ、産業など、市民・町民も含めた交流にもつなげていき、お互いの行政水準の向上や、まちの活性化を図り、ひいては「光」の名を全国に情報発信できればと考えています。

光市の概要

○市制施行

昭和18年4月1日

○面積

59・84km²

○人口

(平成10年3月1日現在)

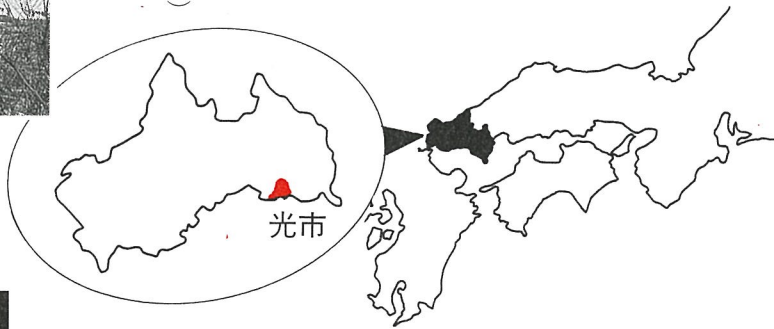
4万8373人



友好交流を誓った
左から、芥藤議長・向後町長・末岡光市長・沖本光市議長



瀬戸内海国立公園に面した風光明媚な虹ヶ浜海岸



年金だより

4月から国民年金保険料が
13,300円

区分	1か月	6か月前納	1年前納
定額保険料	13,300円	78,920円	155,750円
割引額		880円	3,850円
付加保険料	13,700円	81,290円	160,430円
割引額		910円	3,970円

1年前納の割引は4月30日までです

問合せ 住民課国保年金係
☎0432232059

豊かな自然を守ろう！

九十九里自然公園への車の乗り入れを規制



県立九十九里自然公園は飯岡町より一宮町までの砂浜海岸が約60kmに及び、白い砂浜と松林が弓状に続き全国でも有数な自然景観を有しています。

この砂浜は、ハマヒルガオやハマボウフウなどの海浜植物、コアジサシの集団営巣地やシロチドリ等の営巣地、更にはアカウミガメの産卵地でもあります。

近年、オフロード車等の乗り入れで、植物が踏み荒らされたり、轍により稚ガメが海にいけないなど海浜動植物の生息、生育環境への影響が懸念されています。

このため、県では漁業関係者の車両を除き一般車両の砂浜への乗り入れ規制を4月1日より実施しました。規制区域は、飯岡町から

一宮町までの約60kmの海浜部で、道路や広場等は除かれます。規制区域への車両の乗り入れは原則として許可できませんが、規制実施以前より海浜部を利用した事業活動を行っている行為は、海浜動植物への影響がない範囲で許可の対象となります。

なお、農林漁業等の生業をはじめ公共性のある事業を行う行為は許可を要しません。違反した者は6か月以下の懲役、または30万円以下の罰金に処されます。

今後、規制区域に車止めや標識を設置し、十分な啓発活動を行い、良好な自然環境の保全に努めます。

問合せ 県庁自然保護課
☎0432232059